

一般社団法人えんがお

2024年度事業計画書

期間：2024年4月1日～2025年3月31日

1.2024年度の組織運営計画について

1.ビジョンとミッションの確認

ビジョン ー目指す社会像ー

「誰もが人とのつながりを感じられる社会」

ミッション ー社会的使命ー

- ・高齢者の孤立化の予防と解消ができる地域の仕組みをつくり、実践していく
- ・若者の存在を受け入れ、共に成長できる場をつくる
- ・【追加】「こどく」と「こりつ」を地域の現場から変えていく

バリュー ー組織の存在意義ー

- ・人とのつながりの力で、あらゆる社会課題と向き合う

2.基本方針

ミッションの達成を図るため、以下の事項を2024年度の基本方針とする

1)徹底した現場力の質の向上

様々な地域のニーズを受け、事業は拡大傾向にある。一方で、現場の数や職員の数が増えたことでサービスの質の低下が起きてしまっは本末転倒である。まずは、今ある現場、今後増える現場の質の向上を目指していく。

そのために、各部門のメインスタッフの「インプット時間の固定」や、「必要な作業のルーティン化」を徹底する。また、エラーがあった時に自然にPDCAサイクルが回るような思考の習慣化を、シートなども活用しながら社内の体質づくりとして進めていく。

【具体的取り組み】

- ・朝の30分インプット習慣
- ・徹底したルーティン化とその実施
- ・PDCAシートの活用

2)ナレッジ展開とチーム内理解

これまでの現場経験で得た課題として、「このまま続けていても大田原市の孤立しか解決できない」というものがある。この課題を解決すべく、現場と並行して、全国の同じように孤独・孤立の解消に取り組む団体がノウハウを共有し合い、結果各地の活動が加速化するような仕組みづくりを進めていく。えんがおが他団体を支援する、という形だけではなく、「中間支援組織」としてそれぞれが支援し合えるようなプラットフォームの運営である。

この「ナレッジ展開」の動きをメインに今後も多くの活動が同時並行で進んでいく中で、チーム内でそれぞれの部門の取り組みや課題が共有され、全体の方向性が一人一人に浸透していくチームづくりを行なっていく。

【具体的取り組み】

- ・外部団体と連携した資金調達
- ・2ヶ月に一回の全部門ミーティング
- ・半期評価の実施

3)アルバイトスタッフ一人一人への文化の伝達

事業の拡大に伴い、非常勤スタッフ・アルバイトスタッフは30名近くになった。仮に短期でも、関わってくれたスタッフに対して、えんがおがどんな志で事業を行なっているのかが伝わっていくような組織づくりを目指す。

そのために、半年に一回は常勤スタッフと面談したり、日常的に感じたことを吸い上げられるような仕組みづくりを行なっていく。

【具体的取り組み】

- ・新規スタッフの入社後1ヶ月面談
- ・全スタッフの半年後と面談
- ・Googleフォームによる匿名意見箱

3.行動指針

- ・目の前の人を笑顔にする
- ・求められていることを最大限に楽しく実行する

この二点を指針として、個々の判断で主体的に行動してもらう。

III.2024年度の新規事業について

以下の内容について、新たに進めていく予定です。

【放課後等デイサービスの開業とそのための物件(土地付き)の購入】

背景：学童保育を開業した結果、法人の性質としても障がいを抱えたお子さんの相談が多くあった。いくつかの窓口で相談しても安心できる預け先に繋がらないなどの理由で、涙を流す保護者の方も数名目にした。

大田原市及び栃木県北部の現状としては、そうした障がいを抱えたお子さんの受け皿である「放課後等デイサービス」が不足している。また、大企業のチェーン展開は進んではいるが、当法人の求める、子どもたちと保護者を取り巻く環境としては十分とは言えないと考えている。

概要：上記の背景より必要性を感じていたところに、徒歩30秒の位置の物件が売りに出た。スタッフ内で協議した結果、いずれ必要になるものであるとの観点から、借入・購入を進め、2024年度後期での開業を目指していく。

10人規模で、専門職加算などを加味し、年間2500万円程度の事業を想定。

懸念点と解決案：

- ・放課後等デイサービスは、全体的に減算傾向にある。

→当法人理事の岩井氏の運営するビジネスアイデアコンテストにて繋がりのある方で、放課後等デイサービスの開業支援、黒字化のサポートを行なっている会社にコンサルティングを依頼。減算傾向ではあるが、必要なことを抑えれば十分黒字化可能とのこと。

- ・物件の資金と改修費、初年度運営費を見積もると概ね2000万円が必要となる。

→追加融資の相談を進める。15年程度で回収する計画で実施する。

法人としてのメリット：

本事業としては、まず現場の声に答えられるというメリットがある。また、その結果より一層多様な人の入り口が多くなり、「ごちゃまぜ」が深まる。

さらに、経営面ではグループホーム事業が柱として大きすぎる懸念点があった。学童保育と合わせて、制度事業でもう一つの柱を作ることによってリスクの分散が可能である。

物件詳細：写真右。金額900万円。

2024年7月中に購入し、改修・人員募集を行い、2025年4月に開業を目指す。

現在追加融資の相談中。

大型の融資と新規事業になるため、リスク面も踏まえて慎重に進めていく。



予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

	収益事業			非収益事業		共通	合計
	生活支援事業	障害福祉事業	その他収益事業	学童事業	世代間交流事業	本会計	
【経常収益】							
受取会費						1,100,000	1,100,000
受取寄付金						500,000	500,000
受取助成金等				7,900,000	3,000,000	0	10,900,000
事業収益	600,000	46,800,000	1,680,000	3,300,000	1,750,000	1,500,000	55,630,000
講師料			0		0	1,500,000	1,500,000
参加費			0		600,000		600,000
利用料	600,000		340,000	3,300,000	1,000,000	0	5,240,000
受取家賃			800,000			0	800,000
居酒屋・食堂			350,000		0	0	350,000
自立支援給付費収益		33,840,000	0		0	0	33,840,000
利用者負担金収益			0		0	0	0
補足給付費収益		1,260,000	0		0	0	1,260,000
特定費用収益		11,700,000	0		0	0	11,700,000
その他			190,000		150,000	0	340,000
その他収益	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
経常収益 計	600,000	46,800,000	1,680,000	11,200,000	4,750,000	3,100,000	68,130,000
【経常費用】							
事業費							
役員報酬						6,960,000	6,960,000
給与手当	500,000	12,000,000	200,000	5,500,000	3,000,000	0	21,200,000
雑給	0	9,000,000	0	2,466,000		0	11,466,000
業務委託費	0	1,200,000	0		0	0	1,200,000
旅費交通費	0	600,000	0	200,000	70,000	0	870,000
材料費		4,000,000	150,000		600,000	0	4,750,000
消耗品費	0	2,200,000	12,000	50,000	200,000	0	2,462,000
通信運搬費	0	300,000	0	60,000	200,000	0	560,000
水道光熱費	0	1,500,000	350,000	120,000	400,000	0	2,370,000
地代家賃	0	1,986,000	720,000	360,000	1,574,000	0	4,640,000
広報費	0	0	200,000		0	0	200,000
修繕費	0	500,000	0	100,000	0	0	600,000
車両費	0	0	0		70,000	0	70,000
支払保険料	0	25,000	0	45,000	80,000	0	150,000
支払手数料	0	300,000	2,080		130,000	0	432,080
租税公課	0	4,000	15,000		0	0	19,000
減価償却費	0		0			0	0
謝金							0
会議費	0	900,000			90,000		990,000
図書研修費	0	100,000	0		1,500		101,500
雑費	50,000	60,000	0	120,000	150,000	0	380,000
事業費 計	550,000	34,675,000	1,649,080	9,021,000	6,565,500	6,960,000	59,420,580
管理費							
役員報酬	0	0	0	0	0		0
給与手当	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	450,000	450,000
会議費	0	0	0	0	0	160,000	160,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	180,000	180,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	40,000	40,000
消耗品費	0	0	0	0	0	550,000	550,000
図書研修費	0	0	0	0	0	70,000	70,000
広報費	0	0	0	0	0	11,000	11,000
水道光熱費	0	0	0	0	0	100,000	100,000
地代家賃	0	0	0	0	0	150,000	150,000
業務委託費	0	0	0	0	0	500,000	500,000
謝金	0	0	0	0	0	12,000	12,000
車両費	0	0	0	0	0	100,000	100,000
支払手数料	0	0	0	0	0	320,000	320,000
支払保険料	0	0	0	0	0	1,080,000	1,080,000
諸会費	0	0	0	0	0	55,000	55,000
渉外費	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	90,000	90,000
寄付金	0	0	0	0	0	40,000	40,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0
管理費 計	0	0	0	0	0	3,908,000	3,908,000
経常費用 計	550,000	34,675,000	1,649,080	9,021,000	6,565,500	10,868,000	63,328,580
当期経常増減額	50,000	12,125,000	30,920	2,179,000	(1,815,500)	(7,768,000)	4,801,420